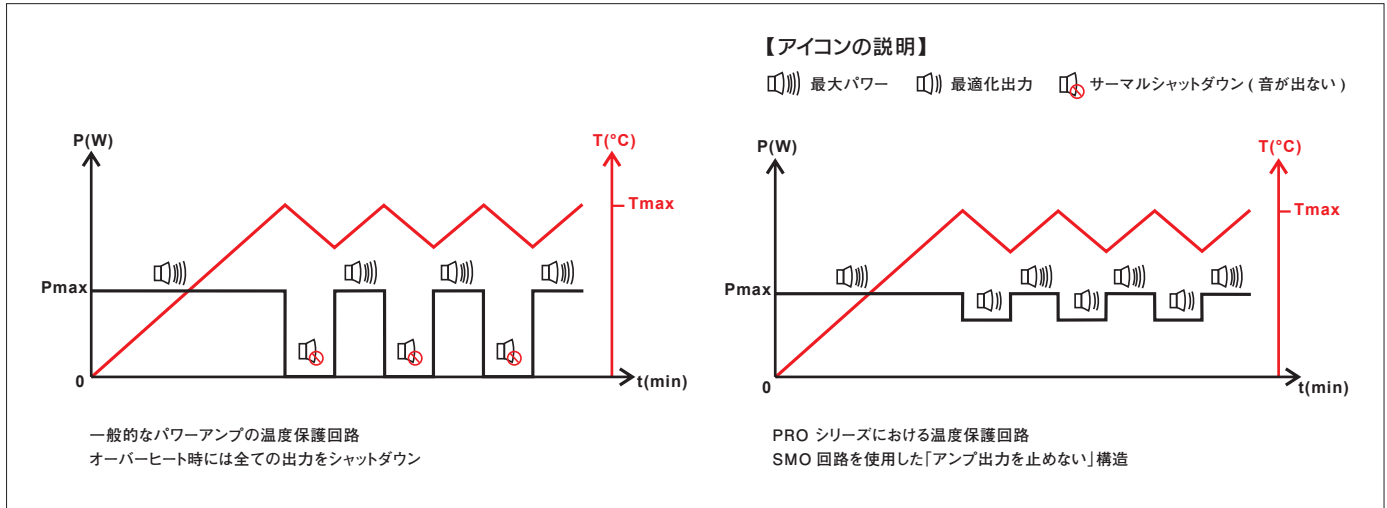


SMART OVERHEAT MANAGEMENT

PRO シリーズに搭載された SOM(Smart Overheat Management) システムは、過酷な温度環境下での連続使用に対して最適なソリューションを与えます。

SOM 回路がパワーアンプ内部温度を常時監視し、出力シャットダウンすることなくクーリングを維持することができる温度まで音量を自動的に調整し、平常時の温度まで下がれば音量は自動回復します。



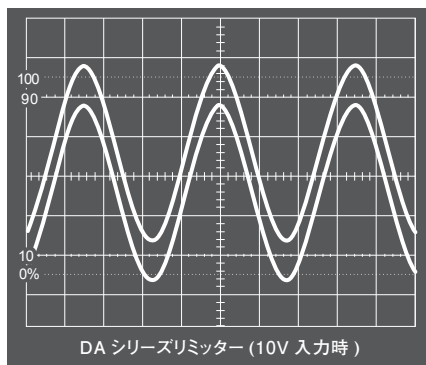
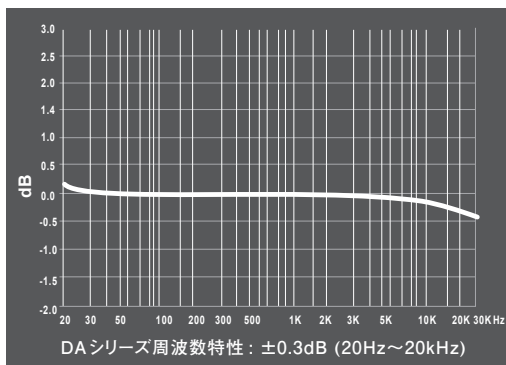
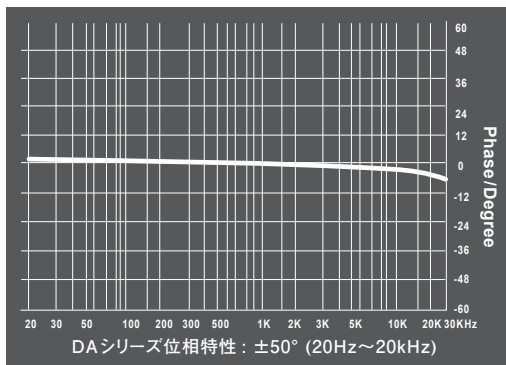
PERFORMANCE

高効率とベストサウンドの融合

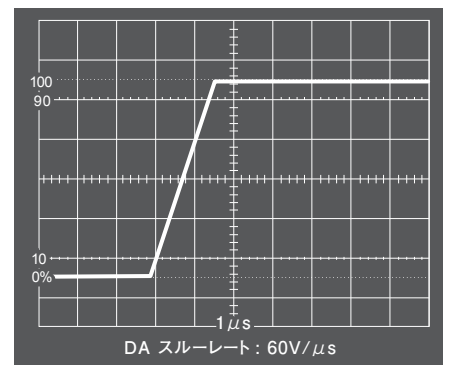
クラス AB に近い音質とクラス H の効率を同時に提供するパワーアンプ技術、それがクラス H+。

動作効率 70% 以上であるクラス H パワーアンプは現在のアナログパワーアンプの主流となってきました。従来のクラス H パワーアンプでは入力信号に応じて出力トランジスタに供給する電圧レベルを切り替える方式であるものの、スイッチングを行う際に歪みが発生し、明瞭性に大きく影響してしまいます。現在のパワーアンプはさまざまな追加の回路設計を施すことでこの問題を切り抜けていますが、高周波におけるこれらのスイッチング歪みは取り除くことができません。こういった理由で、著名なサウンドエンジニアたちはクラス H パワーアンプを使うことを嫌い、サブウーハー用のパワーアンプのみに使うことが多いのです。

AUDIOCENTER では長期間の研究を経てクラス H パワーアンプにおけるこれらのクロススイッチディストーションを取り除くことに成功、その結果高い効率を維持しながら歪みのレベルはほぼクラス AB と同等 (16KHz、ハーフパワー時で THD0.01% 以下) の音質レベルを実現しました。極めてクリアでナチュラルなサウンドと高いエネルギー効率を両立したこれからのパワーアンプ、DA シリーズにはクラス H+ と呼ばれる先進のモジュレーション技術を採用しています。



DA シリーズには A-Guard 入力オーバーロードリミッターを搭載。通常のパワーアンプでのオーバードライブ値が 3V 程度であるのに対して、DA シリーズは 10V という驚異的な値を示します。



独自のストラクチャにより、スループレートは 60V/ μs を実現。スピード感の高い、タイトで力強いサウンドを生み出します。